



すくすくだより



3月になり、少しずつ寒さも和らいできました。しかし、この時期は朝晩だけでなく、日中も突然真冬の寒さが戻ってくることもあるため、体調を崩さないよう、着るものの調節、食事、睡眠や休息などに気を付けましょう。

さて、3月3日は、「耳の日」です。耳に関心を持ち、耳の病気のことだけでなく、耳を大切にするなど、社会的な関心を高めるために制定されたと言われています。

今回は、子どもの耳の特徴とかかり易い病気についてです。



子どもがかかり易い耳の病気！

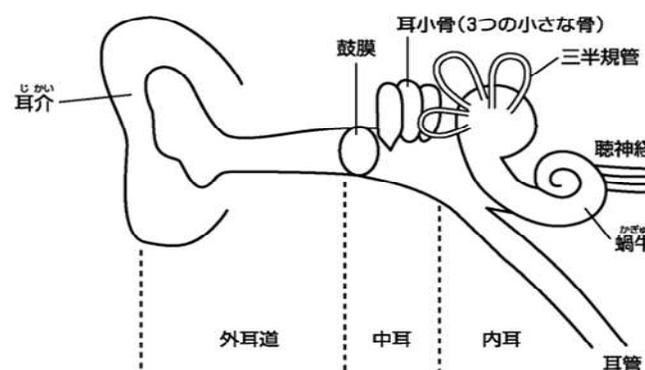


機能と子どもの耳の特徴

耳は、外耳道、中耳、内耳の3つの構造に分かれています。外耳道は音を集める役割、中耳は音を受け止める役割、内耳は音を電気信号に変え脳に送る役割を担っています。

耳管は、鼻の奥と繋がっています。風邪をひき鼻水が多いと鼻をすする際、耳管を通して中耳に菌が入り中耳炎になる可能性があります。子どもの耳管は、太く、短く、傾斜が水平にちかいため、菌が耳に入りやすく中耳炎になりやすいと言われています。

耳の構造



外耳道炎

【原因】

耳の入口から鼓膜までの外耳道に炎症や湿しんができた状態。耳垢が原因になることもある。

【症状】

湿しんができるとかゆく、耳を触ると痛い、発熱やうみが出ることもある。

【治療】

抗生物質の点耳薬や内服薬の使用により1週間程度で治まる。

【ポイント】

外耳道炎になったら、耳をむやみに触らないようにする。

※イヤホンの長時間装着が原因の外耳道炎もある。

急性中耳炎

【原因】

風邪が原因で起こることが多く、ウイルスや細菌が中耳に達して炎症を起こした状態。

【症状】

激しい耳の痛みと発熱、耳だれが出たり、一時的に聞こえが悪くなる、耳が詰まった感じがある。耳を触ったり引っ張ることもある。

【治療】

抗生物質の服用で、ほぼ治まる。

【ポイント】

繰り返し中耳炎を起こすと、滲出性中耳炎になり易いため、きちんと治すようにしましょう。

しんじゅつせい 滲出性中耳炎

【原因】

中耳内に分泌物が溜まった状態。風邪や急性中耳炎の繰り返しが原因で起こる。

【症状】

痛みや熱はないが、耳が聞こえにくくなったり、耳が詰まった感じや耳鳴りがある。

【治療】

必要に応じて鼓膜を切開し、たまった液を抜いて様子を見る。分泌物が吸収されて、自然に治ることも多い。治療には時間を要する場合が多い。

【ポイント】

痛みがなく気づきにくいいため、耳の聞こえや様子の変化に注意が必要。また、放置しておくとう入院手術が必要になることもある。

子どもの「聞こえ」チェック！

- 大きな音に驚いたり、目を覚ましたりするか
- おもちゃの音に振り向くか
- 周囲の呼びかけに振り向くか
- 音楽に合わせて踊るか
- 好きな音楽やCMソングなどに反応するか
- 声のみの指示に従うか
- 発達にそって、習得する言葉は増えているか
- 言葉のまねをするか



～こども保健課からお知らせ～

乳幼児健康診査の対象の方へは、健診日の1か月前頃に、日時を指定した健康診査票を送付します。詳しくは、豊橋市ホームページをご参照ください。

豊橋保育課 こじかこども園 病児保育室
保健だより 令和8年3月1日 ☎25-0528